

世界遺産 熊野古道へつながる

海と山をものがる道

熊野古道センター起点

熊野古道センター	0.1km	夢古道おわせ	0.5km	向井みかん園ロード	1km	黒ノ浜	2km	村島不動滝	0.7km	熊野古道センター
	5分		10分		15分		30分		15分	

JR大曾根浦駅起点

JR大曾根浦駅	50m	大曾根浦神社	50m	宝盛寺	100m	カラカマの浜	150m	大曾根浦漁港	12km	大曾根浦公園	1.0km	JR大曾根浦駅
	1分		1分		2分		3分		25分		15分	

熊野古道センターへのアクセス

JR尾鷲駅より三重交通バス「紀伊松本」行きで約10分
JR大曾根浦駅（特急南紀は停まりません）は、尾鷲駅より新宮方面へ1駅目



⑦黒ノ浜

毎年ゴールデンウィーク頃になるとアサリ採りで賑わう海浜。松やソテツなどの植栽、パイオのトイレ設置など、環境整備にも取り組んでいます。葦原に棲む小鳥の観察も楽しめます。

①熊野古道センター

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の東玄関として、三重県が尾鷲ヒノキの優良材6500本を集めて建設しました。
木造建築の復権として、世界中から関心が寄せられています。

②夢古道おわせ

江戸期からの林業家の古民家を移築活用し、ランチ・バイクのレストランと地元特産の販売コーナーがあります。
尾鷲海洋深層水を活用した温浴施設も建設中です。

③向井みかん園ロード

甘夏みかん園の間を周回する小道で、船の航行する湾岸の風景などが望めます。
5月中下旬には花の薫りと色を、11月から1月にかけては黄色に輝く実が見られます。

④向井神社

天津日子根命(アマツヒコネノミコト)ほか7柱がまつられる八柱神社。地元では「八柱さん」と呼ばれています。境内の周囲は鬱蒼とした樹叢となっています。

⑤観音寺

天和元年(1681)に創建された曹洞宗の寺。昭和54年9月再建。百余年前まで巨木のクロマツが立っていました。

⑥七人塚

畑の片隅に石で囲まれ、室町時代の修験者ゆかりのものと言えられる塚がひっそりと祀られています。

⑧ひらばの散策道

湾景が望め、当地ではチャンボコと呼ばれる磯の巻き貝を採取できます。季節によっては海鳥の観察が楽しめます。

⑩村島不動滝

清流に沿った小道には、ウバメガシ、ヤブニッケイ、イソノキ、カクレミノなどが生育し、その奥には水枯れを知らない滝があります。滝壺の飛沫にかかる虹にめぐり逢えれば最高!

⑪カラカマの浜(掛磯)

毎年1月終わりの休日、隆起海岸である礫岩の小さな夫婦岩に、大漁と海上安全を願ってしめ縄を掛け渡す神事が行われます。また、この一隅には縄文石器を作った珪質の堆積岩(チャート)の地層があります。

⑫岬の樹叢

大曾根浦集落と向井集落を隔ている隆起海岸の岬には、暖地性のクスノキ、タブノキ、ウバメガシ、ツブラジイ、ヤマモモなどが繁茂して森を形成しています。

⑬宝盛寺

集落西側に位置するお寺です。毎年2月24日に御会式、それに地区の漁協と共に豊漁と海上安全の浦祈禱行事がなされます。本堂には、色とりどりの草花が描かれた天井絵が見られます。集落の入り口の守りをする庚申が境内に祀られており、獅子口(寺院の鬼瓦)も見ものです。

⑨弁財島と海岸

弁財島は南北朝時代、北朝が水軍を養成する際、戦勝祈願のため弁財天を祀ったところとされます。島の水際には赤い鳥居が建ち、付近は海蝕が進んでいる場所であるため、洞門などの景観を観察でき、干潮時には潮干狩りも楽しめます。

⑭大曾根浦神社

応神天皇遙拝所(八幡社)の石碑が立っており、木漏れ日の下、苔の匂い漂う静かな神社です。東紀州で産出される石の階段や石垣から技術、文化が窺えます。ミカドアゲハの食草であるオガタノキの高木が自生しています。

⑮大曾根浦漁港

船溜りの停泊風景、海産物の天日干し・干し網、小型漁船上架風景など、漁村のたたずまいといった風物詩が楽しめます。

⑯大曾根浦公園

照葉樹を代表し、春一番に咲くことで知られるヤブツバキの豊富な公園です。風光明媚な中に国内541種・国外184種が植栽された「世界の植園」があります。

